

## 交流を通じ、国内外の京都・日本研究を推進 ～府立京都学・歴彩館における海外若手研究員の招聘について～

- 京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、2017年度から海外の若手研究者を受け入れています。
- この度、フランスの研究者を「京都学研究員」として招聘することとなりましたので、本取組について取材をお願いします。

### 1 招聘する研究員

マリナ・パンドルフィノ（フランス国籍）

【受入期間】2026年7月1日（水）～2026年10月15日（木）

【研究テーマ】『室町時代後期の上流階級における唯一神道の受容』

※フランス国立高等研究実習院 推薦

### 2 研究員の主な任務

- ・受入期間中に研究員は府民向けセミナーの講師を務める。
- ・研究成果論文を歴彩館紀要に投稿する（期間終了後6ヵ月以内）。等

### 3 海外若手研究員による府民向けセミナー（予定）

【発表者】マリナ・パンドルフィノ

【日時】2026年10月6日（火）13:30～14:30

【会場】京都学・歴彩館 小ホール（京都市左京区下鴨半木町1-29）

【備考】定員70名 参加無料 当日受付 先着順

### <参考：海外若手研究員受入事業>

#### 【目的】

国内外における京都研究・日本研究の進展を目的として海外の若手研究者を受け入れ、京都で研究する機会を提供し、研究交流を通じて国際的ネットワークを構築し、研究成果を国内外に発信する。

#### 【概要】

京都学・歴彩館と研究員の推薦及び受入に関する覚書を締結した国内外の主要な日本文化研究機関から推薦を受けた優秀な海外の若手研究者を、学識者からの意見聴取を踏まえ歴彩館において選考の上、歴彩館の「京都学研究員」として招聘し、研究支援を行う。

覚書締結済の研究機関（海外4・国内3）計7

- イギリス：セインズベリー日本藝術研究所
- フランス：国立高等研究実習院（※今回の推薦機関）
- 台湾：国立台湾大学文学院日本研究センター
- アメリカ：南カリフォルニア大学
- 京都大学大学院文学研究科
- 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- 京都府立大学

<招聘者の研究テーマ概要と略歴>

マリナ・パンドルフィノ

フランス国籍・31歳

専門分野：歴史、中世宗教、中世神道

研究テーマ (概要)	『室町時代後期の上流階級における唯一神道の受容』 応仁の乱後、神祇官の次官であった吉田兼俱 <small>よしだかねとも</small> は幅広く活躍した。『日本書紀』や『中臣祓』 <small>なかとみのほらえ</small> に関して講釈を行い、唯一神道という新しい神道流派を創立し、様々な経典を執筆した。その活動を通じて、兼俱は唯一神道の教理を京都の公家社会に普及させた。今回の研究では、兼俱と接触した貴族や室町幕府の幹部が残した古文書等の分析を通じて、京都の公家社会における唯一神道の受容について共時的に検討する。
略歴	フランス国立東洋言語文化大学日本学部・国際関係学部、大阪大学日本語日本文化教育センター、フランス国立東洋言語文化大学国際関係学研究科アジア国際関係専攻修士課程及び同大学日本学研究科日本学専攻修士課程修了、慶應義塾大学文学研究科研究生を経て、現在、フランス国立高等研究実習院宗教学研究科日本宗教専攻博士課程在籍中

※推薦機関：フランス国立高等研究実習院

【本報道発表に関するお問合せ】

京都学・歴彩館 京都学推進課長 若林 正博 075-723-4840

